

プログラム 1日目 1月29日 13:00 ~ 17:00

【行政説明】 特別支援教育行政の現状と課題

13:15 ~ 13:55

【講師】 井上 恵嗣 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課課長

【セッション1】 基調講演・シンポジウム

14:00 ~ 17:00

学校・地域において子どもを支えるために

基調講演では、インクルーシブ教育システム構築に向けて、学校や地域において子どもを支えるためには、支援システムをどのように機能させて実践につなげていくのか、特別支援教育の理論を学校教育における実践に結びつけ、効果的な学習支援を実現することについて具体的にお話をいただきます。

それを受けて、シンポジウムでは、特別支援学校、小学校、教育委員会の各立場から実際に進めている取組等について話題提供をいただき、意見交換をとおして、子どもを支えるための今後の学校・地域における新たな展開を探ります。

司会 小林 倫代（国立特別支援教育総合研究所）

【基調講演】（14:00 ~ 15:00）

講演者 安藤 壽子 氏（お茶の水女子大学）

【シンポジウム】（15:20 ~ 17:00）

シンポジスト 小野 真嗣 氏（宮城県立みやざき中央支援学校）

村井 方子 氏（横浜市立洋光台第一小学校）

鎌田 誠 氏（秋田県横手市教育委員会）

指定討論者 安藤 壽子 氏（お茶の水女子大学）

2日目 1月30日 9:30 ~ 16:00

【セッション2】 トピック紹介

9:30 ~ 11:50

ここでは研究所が取り組んでいる調査や事業に関するトピックを紹介します。

前半は、文部科学省が平成24年12月に公表した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の補足調査（本研究所が実施）の結果について、及び、昨年度開設し、今年度7月、合理的配慮に関する実践事例の公開に至った「インクルーシブ教育システム構築支援データベース」について紹介します。

後半は、「国立特別支援教育総合研究所支援機器等教材普及促進事業」における取組の現状について、支援機器等の活用を中心に紹介するとともに、「特別支援教育教材ポータルサイト」構築の進捗状況も紹介します。

司会 牧野 泰美（国立特別支援教育総合研究所）

前半の部（9:30 ~ 10:55）

【研究所の研究活動】 原田 公人（国立特別支援教育総合研究所）

【調査・事業報告】

・「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」の補足調査結果報告

伊藤 由美（国立特別支援教育総合研究所）

・インクルーシブ教育システム構築支援データベースについて

藤本 裕人（国立特別支援教育総合研究所）

森山 貴史（国立特別支援教育総合研究所）

後半の部（11:15 ~ 11:50）

【事業報告】

・「国立特別支援教育総合研究所支援機器等教材普及促進事業」の経過と現状

事業報告 金森 克浩（国立特別支援教育総合研究所）

話題提供 青木 高光 氏（長野県稲荷山養護学校）

井上 賞子 氏（島根県松江市立意東小学校）

山本 一寿 氏（大阪府立視覚支援学校）

ポスター発表・障害別教育分野紹介・各種展示

11:50 ~ 13:20

本研究所の平成25年度終了研究課題の成果報告を、ポスター展示及び参加者との質疑応答により行います。また、各障害別教育分野のうち、今年度は、自閉症教育、視覚障害教育、肢体不自由教育の各分野について、展示コーナーを設けて紹介します。発達障害教育情報センターの紹介コーナー、ICT機器や支援機器の展示コーナーも設けます。

第1分科会 今後のインクルーシブ教育システム構築の体制づくりの在り方をさぐる ～文部科学省モデル事業地域（市町村）の取組から～

本研究所では、平成25～26年度の2年間にわたり、専門研究A「インクルーシブ教育システム構築に向けた取組を支える体制づくりに関する実際研究－モデル事業等における学校や地域等の実践を通して－」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築に向けた学校や地域（市町村）の体制づくりに関して、その重視すべき内容について検討を進めてきました。

本分科会では、前半は、地域（市町村）における体制づくりに重視すべき内容について、研究から得られた知見を報告します。後半は、研究協力機関とした文部科学省のモデル事業地域の具体的な体制づくりの成果と課題について話題提供をしていただき、今後のインクルーシブ教育システム構築に向けての体制づくりの在り方について、シンポジスト及びフロアの皆様と全体協議を行います。

司会	久保山茂樹（国立特別支援教育総合研究所）
研究報告	笹森 洋樹（国立特別支援教育総合研究所）
話題提供	工藤 素子 氏（秋田県潟上市教育委員会） 丸山 和夫 氏（長野県岡谷市教育委員会） 三浦 由美 氏（宮城県石巻市教育委員会）
指定討論	川合 紀宗 氏（広島大学） 山岡 修 氏（日本発達障害ネットワーク）

第2分科会 授業が変わる、学校が変わる学習評価 ～知的障害教育における組織的・体系的な学習評価を促す方策について考える～

本研究所では、平成25～26年度の2年間にわたり、専門研究B「知的障害教育における組織的・体系的な学習評価の推進を促す方策に関する研究－特別支援学校（知的障害）の実践事例を踏まえた検討を通して－」に取り組み、知的障害教育における学習評価と学習指導に係るPDCAサイクルの概念整理を進めるとともに、観点別学習評価の在り方、学習評価を学習指導の改善に活かすための工夫、学習評価を児童生徒への支援に活用する方策、組織的・体系的な学習評価を促す方策について検討してきました。

本分科会では、研究の報告と研究協力機関での実践事例をとおして協議を進め、知的障害教育における組織的・体系的な学習評価を促す方策について、シンポジスト及びフロアの皆様とともに探っていききたいと思います。

司会	武富 博文（国立特別支援教育総合研究所）
趣旨説明	尾崎 祐三（国立特別支援教育総合研究所）
研究報告	松見 和樹（国立特別支援教育総合研究所）
実践報告	四ツ永信也 氏（鹿児島大学教育学部附属特別支援学校） 加志村直子 氏（京都府立舞鶴支援学校） 東内 桂子 氏（広島県立庄原特別支援学校）
指定討論	菅野 敦 氏（東京学芸大学）

第3分科会 重い障害がある子どもの実態把握、教育目標と内容の設定、評価等に関する 情報パッケージ「ぱれっと（PALETTE）」の提案 ～本人主体の個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用～

本研究所では、平成25～26年度の2年間にわたり、専門研究B「重度・重複障害のある子どもの実態把握、教育目標・内容の設定、及び評価等に資する情報パッケージの開発研究」に取り組み、重い障害がある子どもの教育計画の作成と実施に資する情報パッケージとして「ぱれっと（PALETTE）」（Plan and Action tools for Living and learning of Every child's Today and Tomorrow through Education）を作成しました。

本分科会では、はじめに「ぱれっと（PALETTE）」作成の経緯、内容の概略、国の施策との関連等について報告し、次いで「ぱれっと（PALETTE）」試案を実際に活用した研究協力機関より、各学校における活用の仕方やその成果について話題提供をいただきます。最後に、「ぱれっと（PALETTE）」が提案するコンセプトの今日的意義や、今後のさらなる活用の可能性について協議します。

司会	大崎 博史（国立特別支援教育総合研究所）
研究報告	齊藤由美子（国立特別支援教育総合研究所） 小澤 至賢（国立特別支援教育総合研究所） 分藤 賢之 氏（文部科学省特別支援教育課）
実践報告	橘 紀子 氏（香川県立高松養護学校） 鋤持 弥貴 氏（奈良県立ろう学校）

◇ 参加申込

(1) 申込要領

参加申込は、本研究所のホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) において、直接お申込みください。なお、インターネット環境にない場合などはFAXでの申込も可能です。申込に当たっては、参加日、希望分科会（第2希望まで）、氏名（ふりがな）、所属・職名、連絡先電話番号及びFAX番号をお知らせください。

また、本セミナーへの参加に当たり、手話通訳、車いす等特別な配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。

参加申込を受け付けましたら、後日メール等にてお知らせします。

(2) 申込期間

平成26年12月1日（月）～平成27年1月9日（金）

※ 12月1日より前の申込は、受付いたしませんのでご注意ください。

(3) 定員等

700名

※ 先着順で受け付け、定員を超えて受け付ける場合は小ホールでの映像視聴となります。申込多数により小ホールでの映像視聴も難しい場合は、申込期間中であっても申込を締め切りますので予めご了承ください。

なお、参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

(4) 参加費

無 料

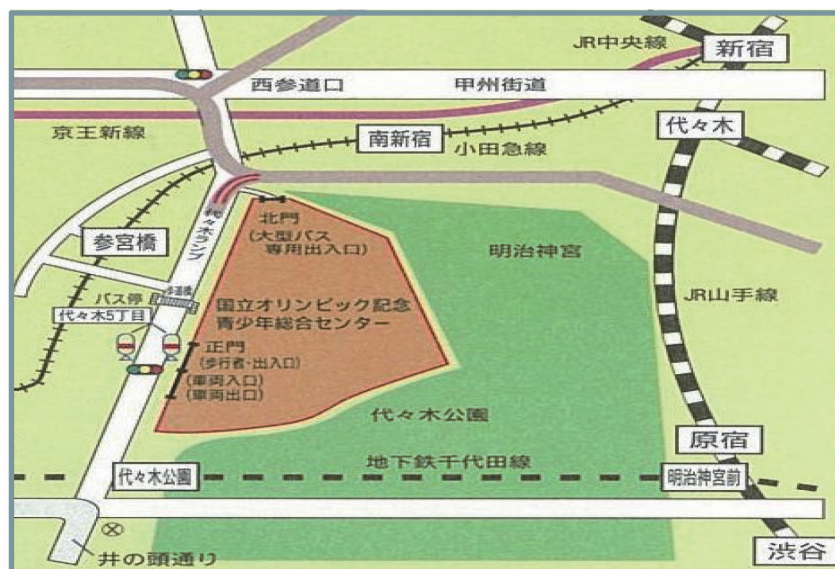
(5) 宿泊・昼食

宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。

また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。

※ ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。

(6) 会 場



国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL(03)3469-2525(代表) FAX(03)3469-2277

【交通案内】

- 小田急線 参宮橋下車 徒歩約7分
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車
- 地下鉄千代田線 代々木公園下車 [代々木公園方面4番出口] (徒歩約10分)

(7) 問い合わせ先 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

総務部総務企画課企画係

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL 046-839-6808

FAX 046-839-6919

e-mail seminar@nise.go.jp



平成26年度国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進 —学校・地域の取組における新たな展開—

- ◇ 期 日 平成27年1月29日（木）・30日（金）
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
- ◇ 定 員 700名
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

国立特別支援教育総合研究所（NISE）では、研究活動等の成果普及や質の向上、教育関係者や関係機関との情報共有を図るため、毎年、「国立特別支援教育総合研究所セミナー」を開催しております。

平成19年の4月に特別支援教育に移行して、今年度で8年目を迎えます。この間、特別支援教育は、関係者のご尽力により、そのねらいの達成に向けて、着実に進展しているところです。

平成26年の1月には、長年の懸案であった障害者の権利に関する条約が、我が国においても批准され、新たな歩みが期待されています。本研究所においては、平成25年11月に「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）」を開設し、翌年の7月には、文部科学省の支援を得ながら、新たなコンテンツとして「合理的配慮実践事例データベース」を開設したところです。

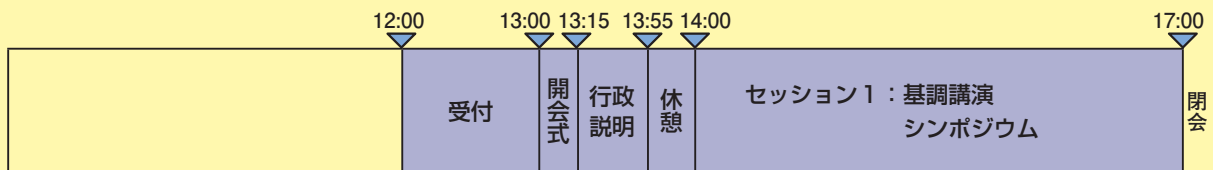
平成26年度の研究所セミナーでは、1日目に、文部科学省からの行政説明を予定し、最新の情報を参加者に提供していただくとともに、インクルーシブ教育システム構築に向けて、「学校・地域において子どもを支えるために」と題して、基調講演やシンポジウムを行います。次いで2日目は、セッション2として、本研究所が取り組んでいる調査や事業に関するトピック紹介を行うとともに、ポスター発表等を通じて、既に終了した研究課題の成果を紹介させていただきます。加えて、セッション3では、本年度終了予定の研究課題について、分科会形式での成果報告を行います。

特別支援教育は、今後も、多くの関係者の力を合わせて、一歩ずつ形作っていくものであります。本セミナーをとおして、参加者から、研究所の研究等に関するご意見やご要望を賜り、それらを今後の特別支援教育の進展に役立てていければと考えています。大勢の皆様のご参加を期待しております。

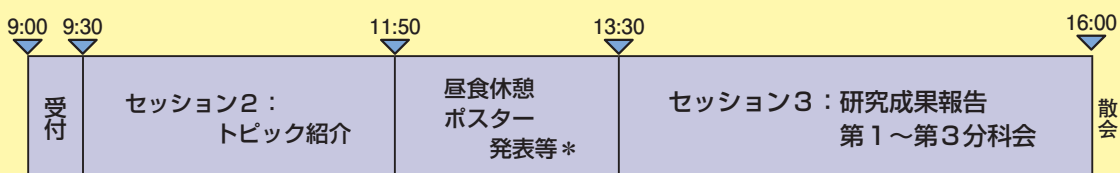
理事長 穴戸 和成

日 程

<1日目> 平成27年1月29日（木）（カルチャー棟：大ホール）



<2日目> 平成27年1月30日（金）（カルチャー棟：大ホール、小ホール、センター棟：417）



*ポスターは、2日目の朝より掲示する予定です。

*ポスター発表等各種展示は、昼食休憩の時間の一部（11:50～13:20）を利用して行います。

■このご案内は本研究所のホームページ（<http://www.nise.go.jp/>）にも掲載しております。